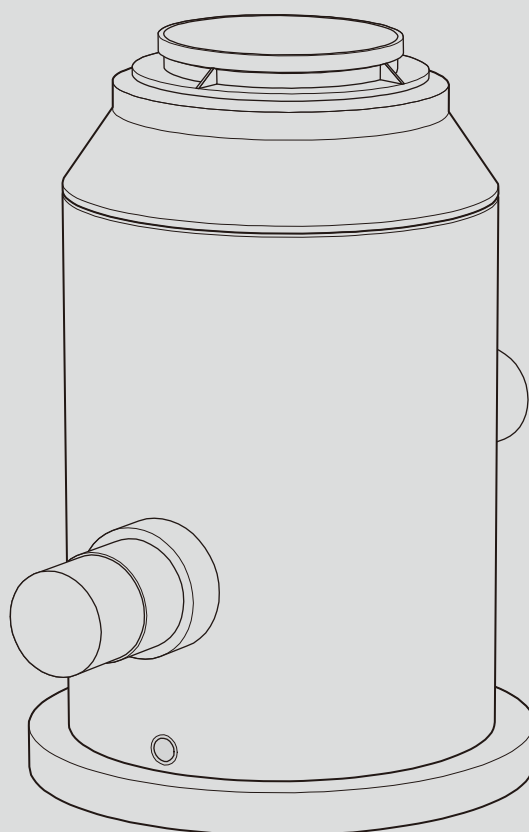


ハンドホール

情報ボックスハンドホールⅠ型	152
情報ボックスハンドホールⅡ型	152
情報ボックスハンドホールⅢ型	153
情報ボックスハンドホールⅣ型	153
防護コンクリートブロック	154
情報ボックス 異種管継手	155
ハンドホール H1 型	156
ハンドホール H2 型	157
ハンドホール EA・ES 型	159
ハンドホール EB～EH・EL 型	160
ハンドホール EM1 型	162
ハンドホール EM2 型	162
ハンドホール EM3 型	163
ハンドホール EM4 型	163
ハンドホール CE・CF 型	165
ハンドホール CE・CF 型スラブタイプ	166

電線共同溝

U 型蓋掛け形式	167
マンホール形式	168



ハンドホールⅠ型

(ケーブル通過部)

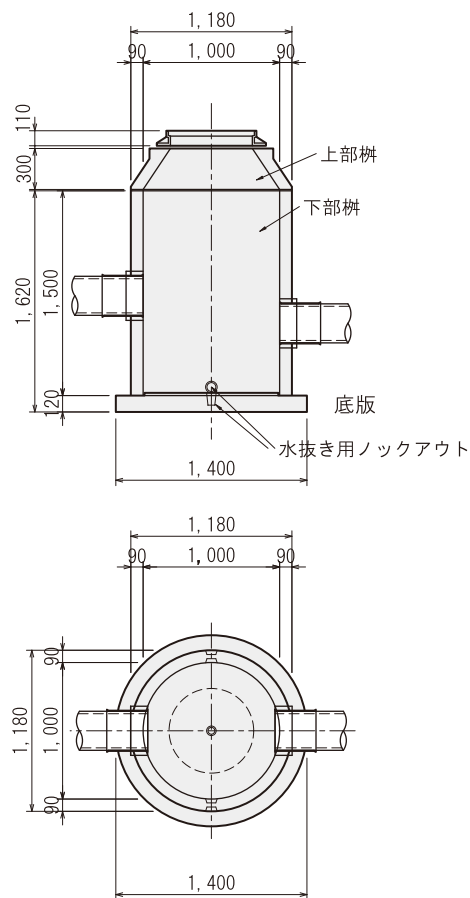


諸数値表

呼び名	質量(kg)
上部柵	274
中間柵 (100mm 当)	77
下部柵	1,108
底板	461

備考 (『北海道開発局道路設計要領 第6集 標準設計図集』より)

- ①ケーブル通過部ハンドホールは、必要に応じて設置します。
- ②敷材料は、厚さ3cm程度の砂を標準とします。
- ③タイプⅠ型については、さや管(ポリエチレン管)を引通すものとします。
- ④さや管をハンドホール内に引通すため情報ボックス本体の高低差は、250mm以内とします。
- ⑤底板の水抜き用ノックアウトは、施工時に地下水の有無を確認し、無い場合に開口するものとします。



ハンドホールⅡ型・札幌市ハンドホールタイプⅠ

(接続・分岐部)

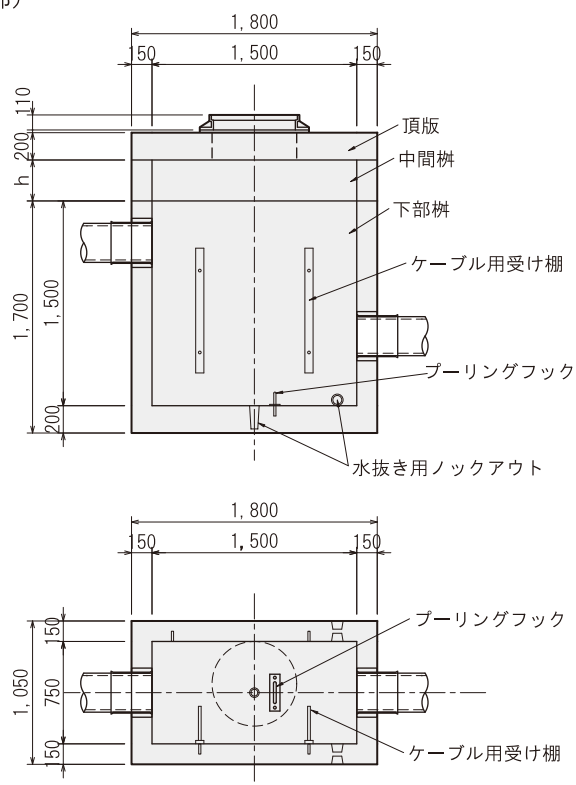


諸数値表

呼び名	質量(kg)
頂版	794
中間柵 (100mm 当)	191
下部柵	3,734

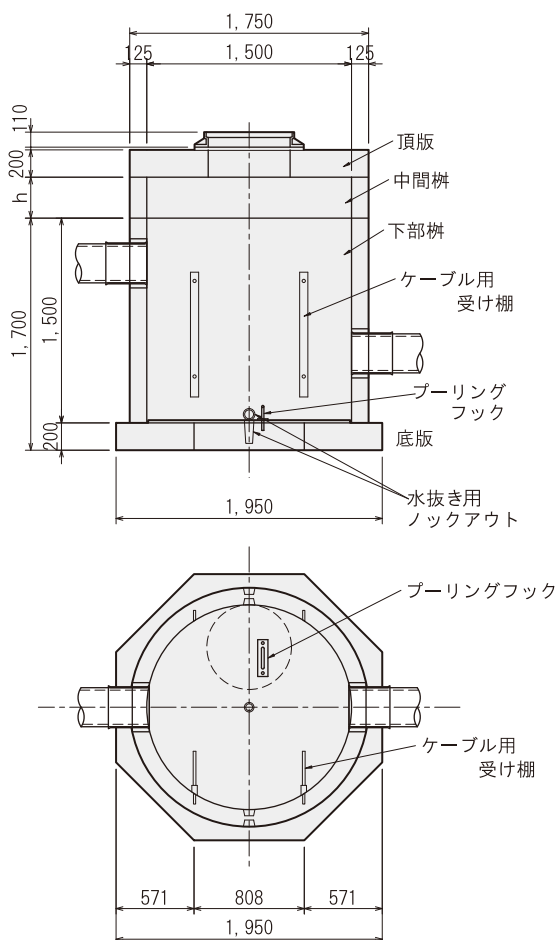
備考 (『北海道開発局道路設計要領 第6集 標準設計図集』より)

- ①ハンドホールの設置間隔は、最大250mを標準とします。
- ②ハンドホールの設置位置は、非常時の情報コンセント等に対応するため、冬季除雪可能箇所を選定しています。
よって歩道部・歩道のない箇所は車道部同一路面上とすることを原則とします。
- ③蓋の設置位置は、民地側を基本とします。
- ④現地の状況により、中間柵を使用することが出来ます。
- ⑤敷材料は、厚さ3cm程度の砂を標準とします。
- ⑥底板の水抜き用ノックアウトは、施工時に地下水の有無を確認し、無い場合に開口するものとします。



ハンドホールⅢ型

(接続・分岐部)



諸数値表

呼び名	質量(kg)
頂版	1,052
中間柵 (100mm 当)	160
下部柵	2,327
底版	1,574

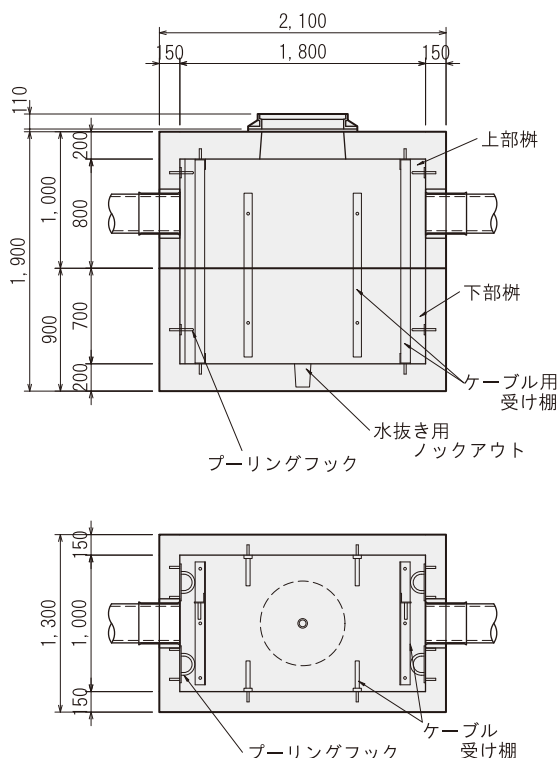


備考 (『北海道開発局道路設計要領 第6集 標準設計図集』より)

- ①ハンドホールの設置間隔は、最大250mを標準とします。
- ②ハンドホールの設置位置は、非常時の情報コンセント等に対応するため、冬季除雪可能箇所を選定しています。
- ③蓋の設置位置は、民地側を基本とします。
- ④現地の状況により、中間柵を使用することが出来ます。
- ⑤敷材料は、厚さ3cm程度の砂を標準とします。
- ⑥底版の水抜き用ノックアウトは、施工時に地下水の有無を確認し、無い場合に開口するものとします。

ハンドホールⅣ型・札幌市ハンドホールタイプⅡ

(接続・分岐部)



諸数値表

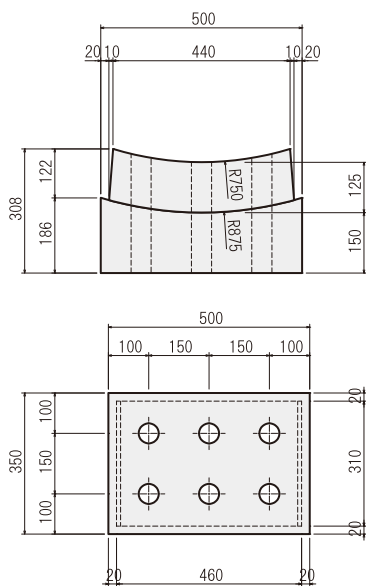
呼び名	質量(kg)
上部柵	2,947
下部柵	2,988



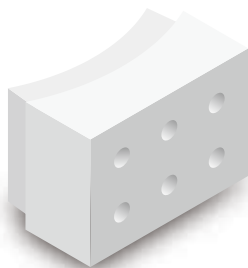
備考 (『北海道開発局道路設計要領 第6集 標準設計図集』より)

- ①以下の条件の箇所について、タイプ地を使用することとします。
 - ・国道相互の交差点における接合箇所
 - ・建設本部、各道路事務所等の分岐点
 - ・長大橋、長大トンネルでHH～HH間隔が500mを超える箇所
- ②ハンドホールの設置位置は、非常時の情報コンセント等に対応するため、冬季除雪可能箇所を選定しています。
- ③情報ボックス本体(台付管、リブ管、複数管方式等)の取付は、上部柵で行うことを基本とします。
- ④現地の状況により、高低差の調節を行う場合は調整リングで行うこととします。
- ⑤底版の水抜き用ノックアウトは、施工時に地下水の有無を確認し、無い場合に開口するものとします。

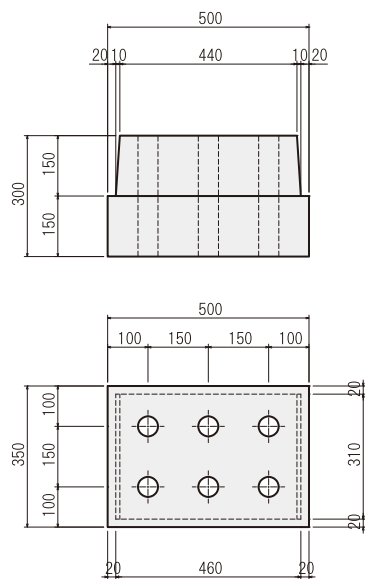
ハンドホールⅠ型用



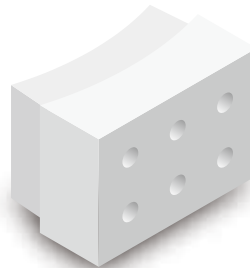
質量 91kg



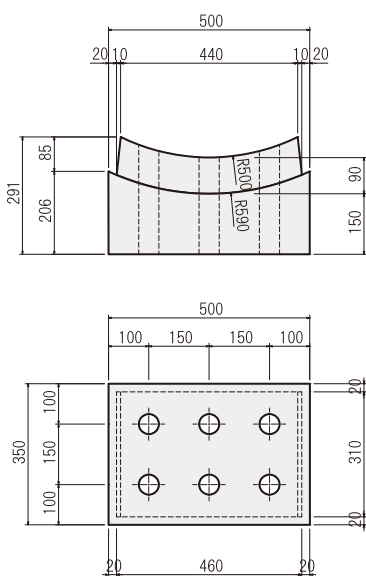
ハンドホールⅡ・Ⅳ型用



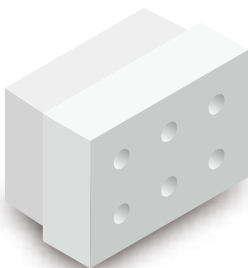
質量 100kg



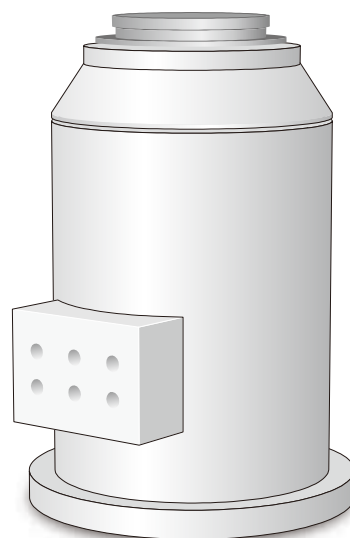
ハンドホールⅢ型用



質量 98kg

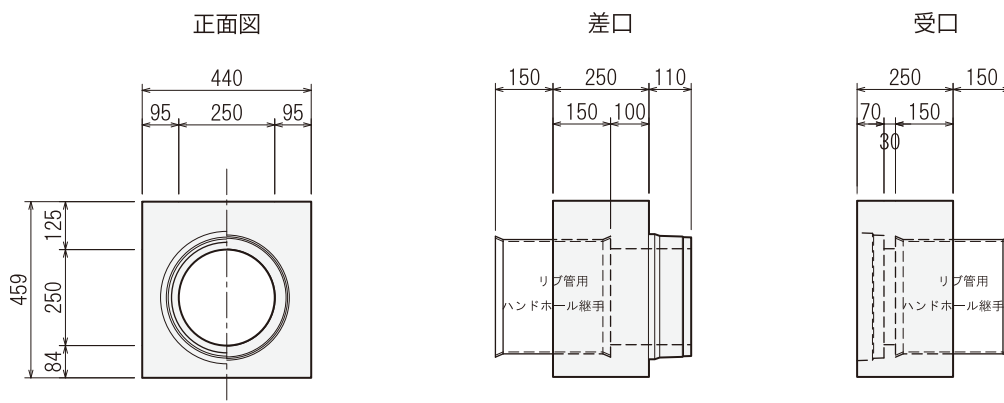
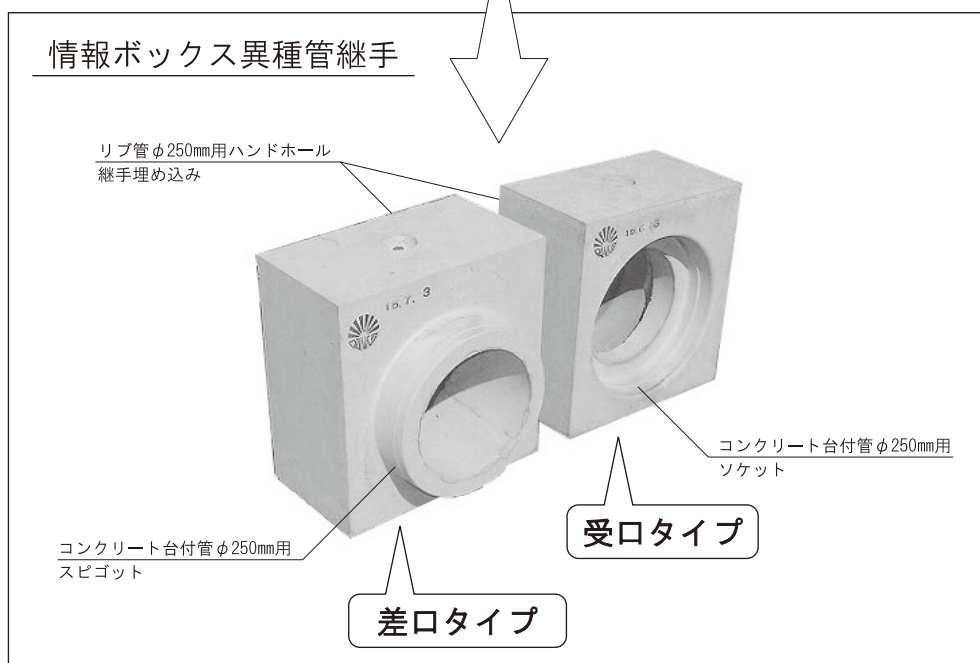
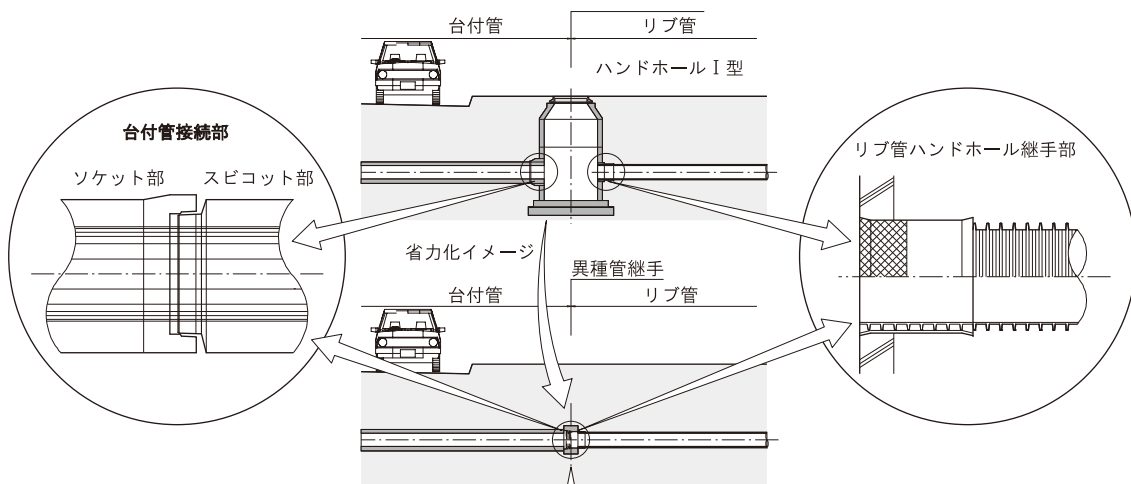


ハンドホールⅠ型 組立例



接続ボックス（ハンドホールⅠ型の異種管接続）

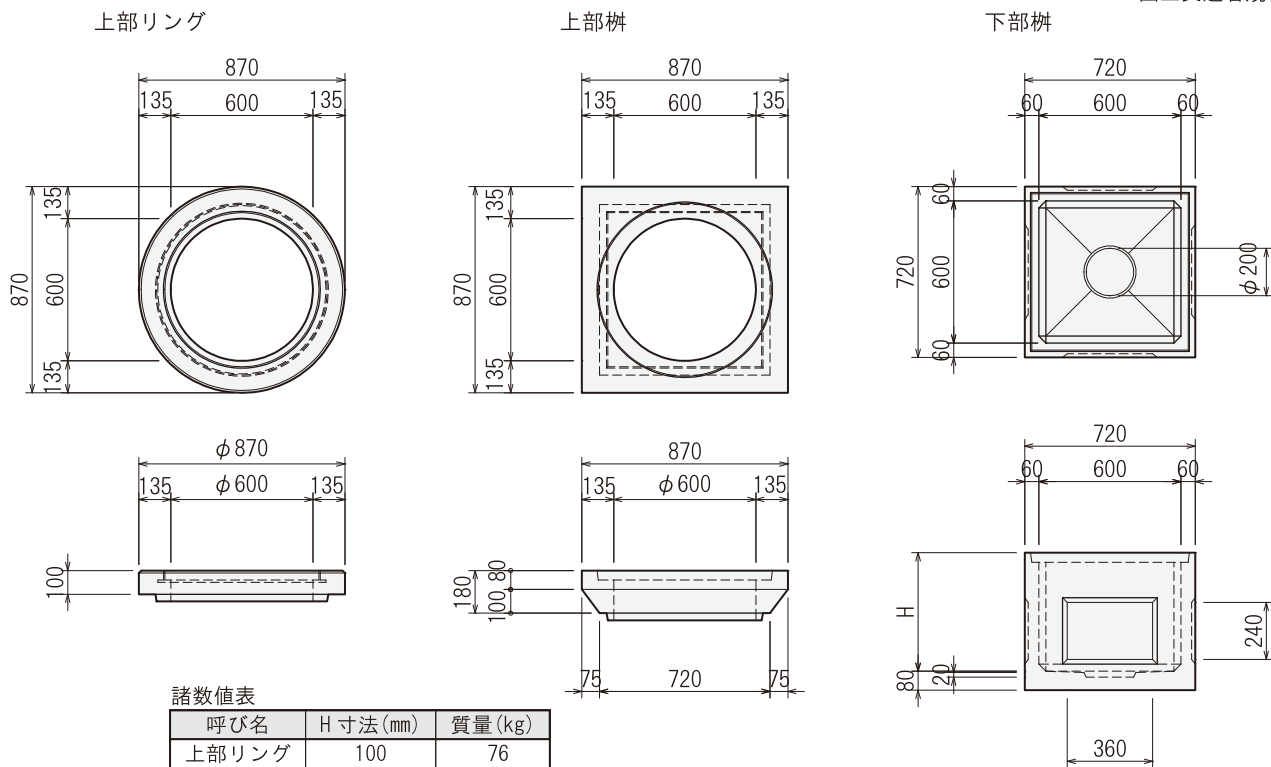
ハンドホールⅠ型の異種管接続の場合に、ハンドホールを設置すること無く単純な構造の同製品を用いることにより、大幅なコスト縮減、施工性の向上を可能としました。（道開発局との共同開発）



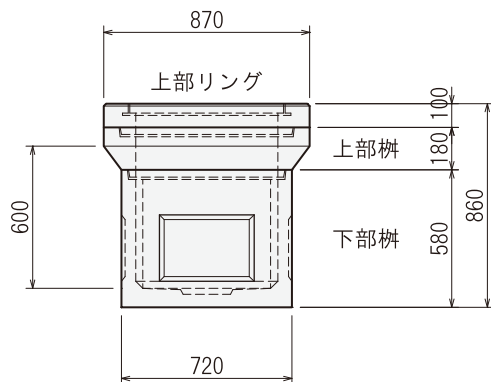
ハンドホールH1型

ハンドホール

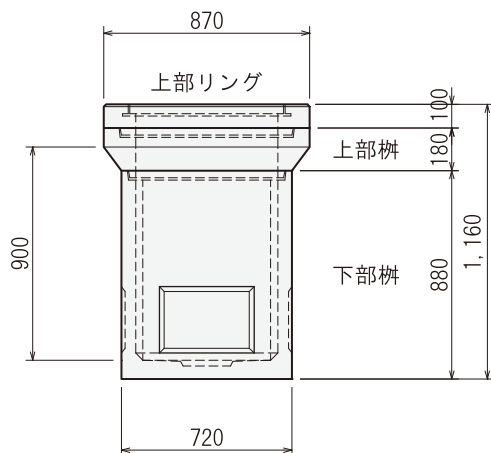
国土交通省規格



組立図 (H1-6)



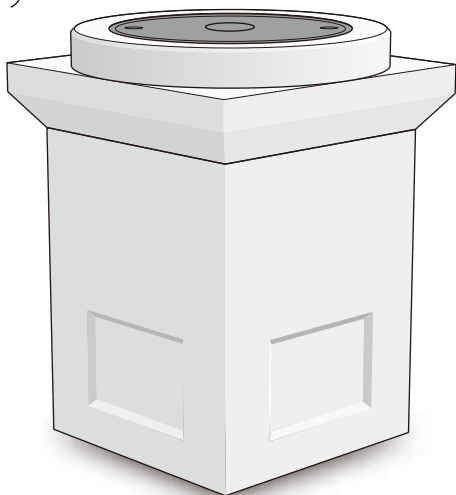
組立図 (H1-9)



上部リング

上部柵

下部柵

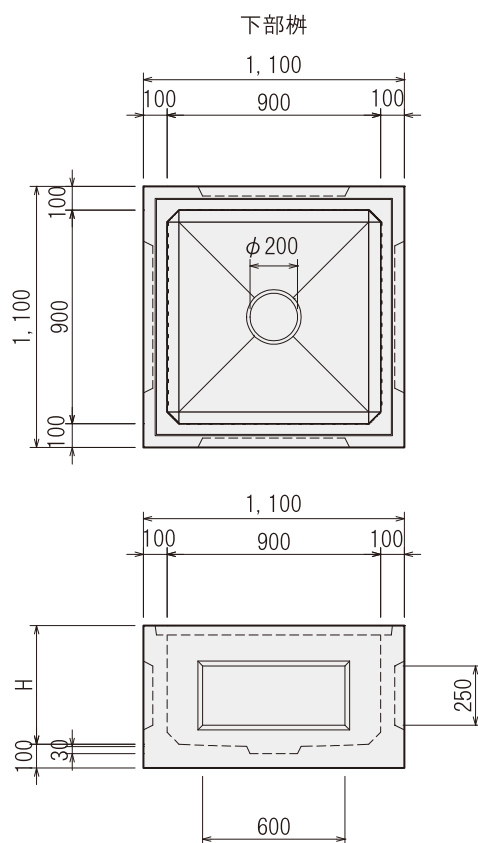
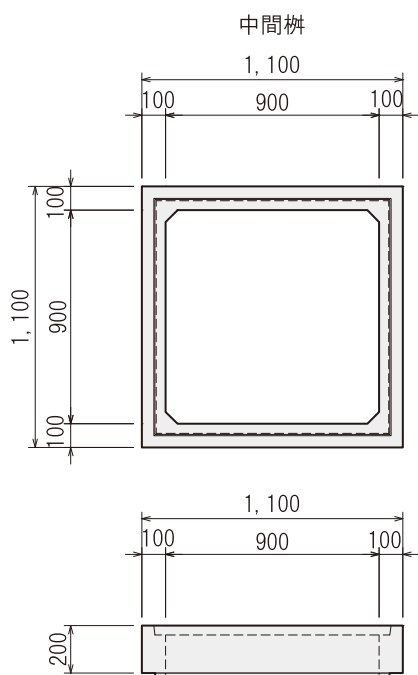
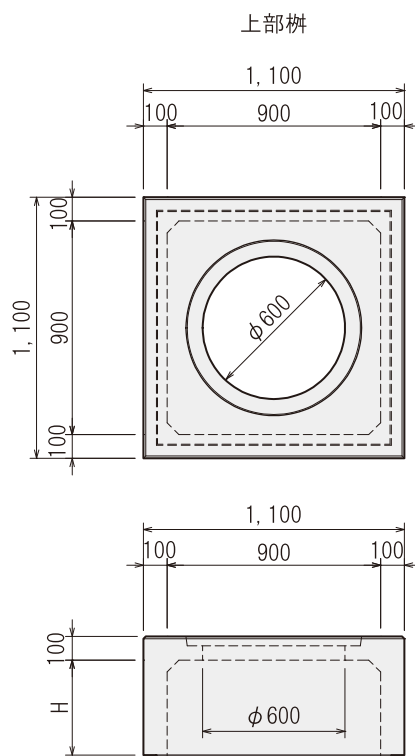
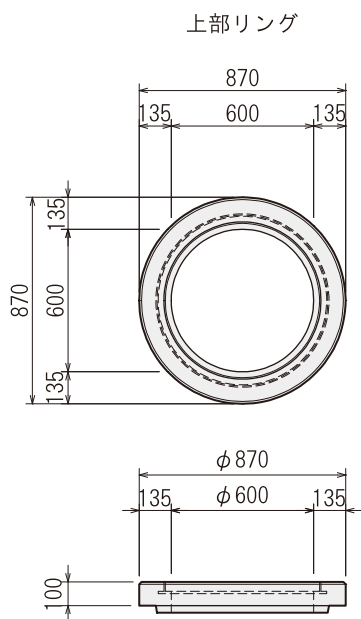


組合せ質量表

単位:kg

呼び名	H1-6	H1-9
上部リング	76	76
上部柵	199	199
下部柵	269	384
合計	544	659

※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の要否をご検討下さい。



諸数値表

呼び名	H 寸法 (mm)	質量 (kg)
上部リング	100	76
上部枳	100	304
	400	595
中間枳	200	188
下部枳	500	704
	700	898

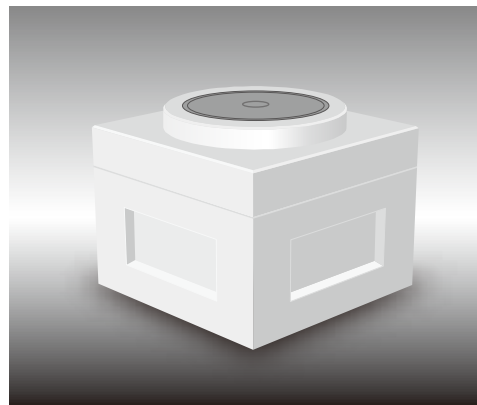
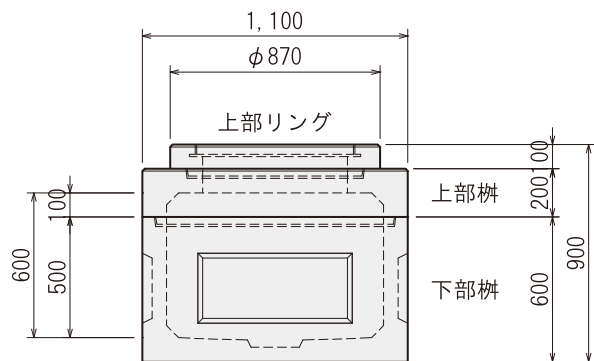
※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の
要否をご検討下さい。

ハンドホールH2型

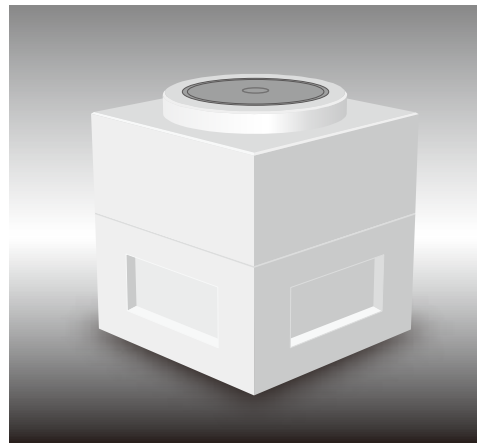
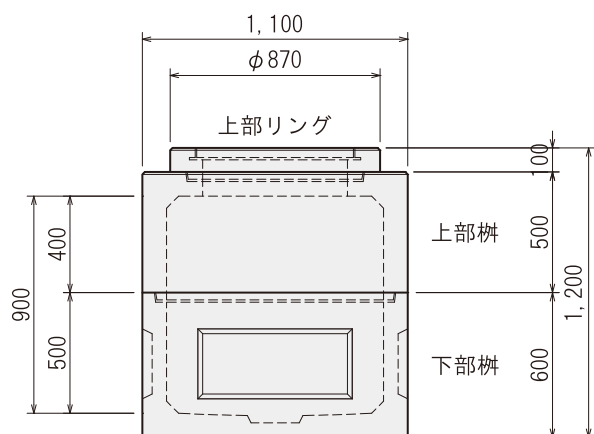
ハンドホール

国土交通省規格

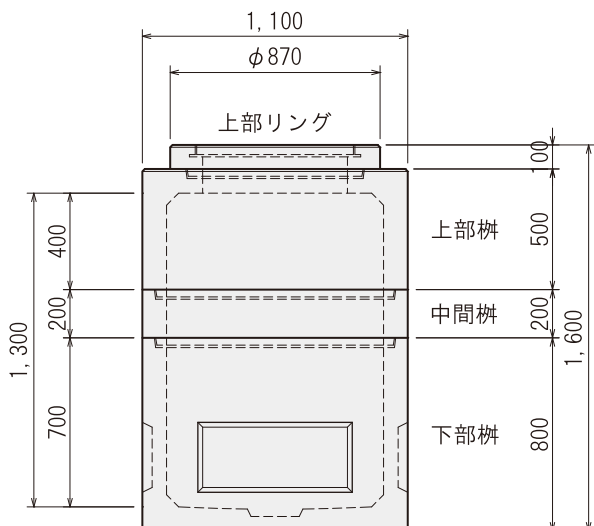
組立図 (H2-6)



組立図 (H2-9)



組立図 (H2-13)



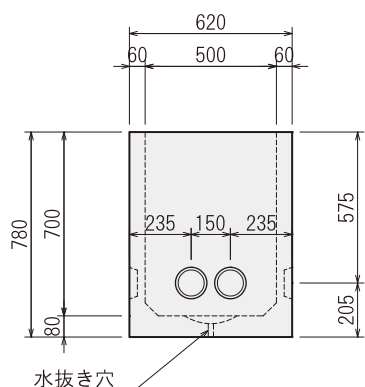
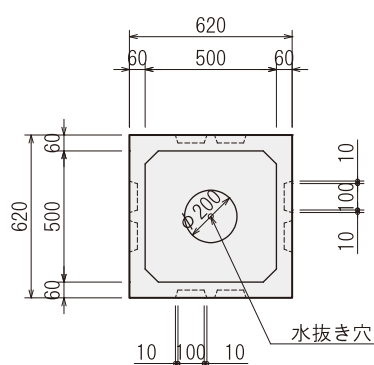
組合せ質量表

単位:kg

呼び名	H2-6	H2-9	H2-13
上部リング	76	76	76
上部柵	304	595	595
中間柵	-	-	188
下部柵	704	704	898
合計	1,084	1,375	1,757

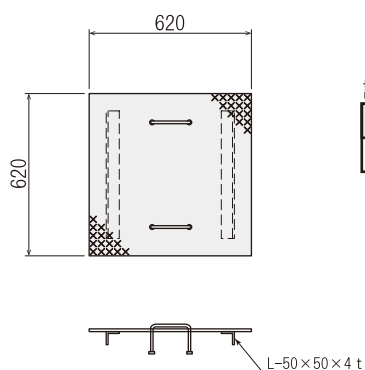
ハンドホール EA型

NEXCO 規格



※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の
要否をご検討下さい。

綑鋼板蓋 (C1)

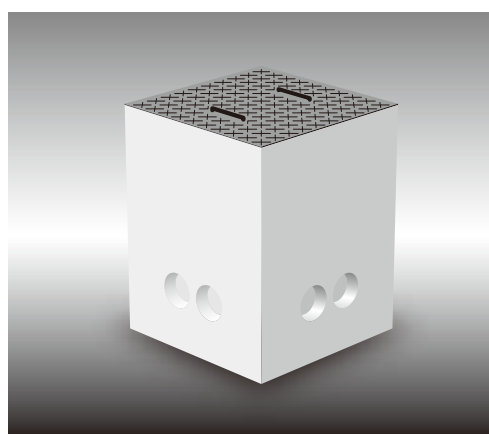


諸数值表

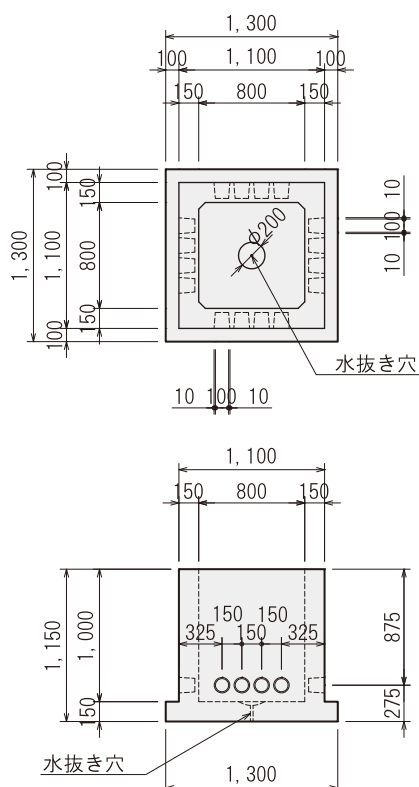
呼び名	質量(kg)
C1	22

諸数值表

呼び名	質量(kg)
EA型	340



ハンドホール ES型



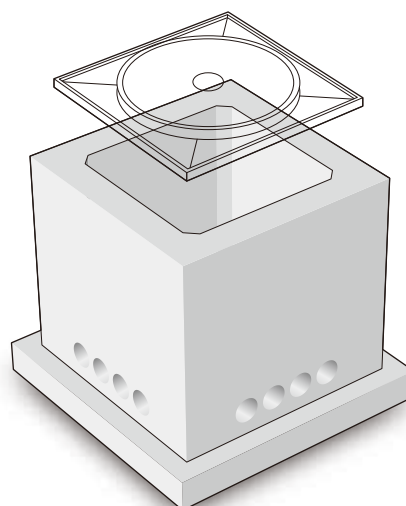
諸数值表

呼び名	質量(kg)
ES型	1.943

※ES型は車道用となります。

鑄鉄蓋は p 160 をご参照下さい。

※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の
要否をご検討下さい。

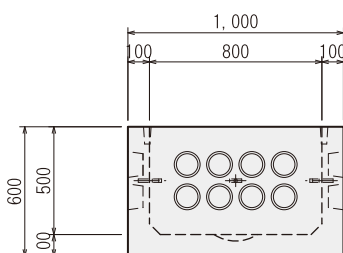
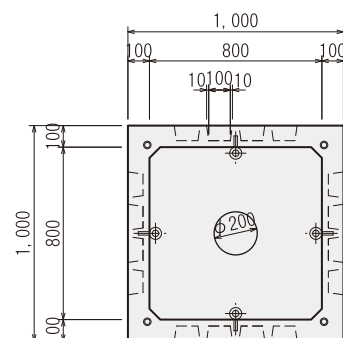


ハンドホール EB～EH・EL型

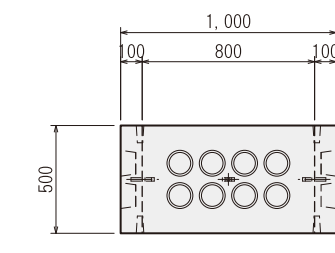
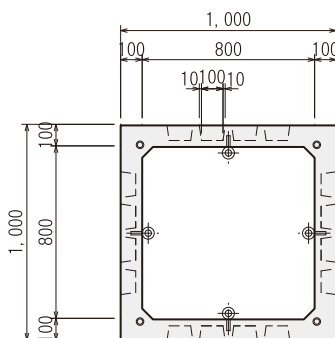
ハンドホール

NEXCO 規格

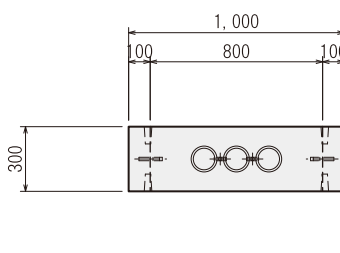
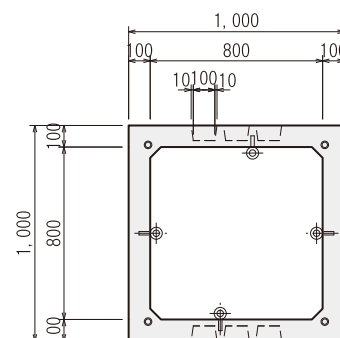
a ユニット



b ユニット

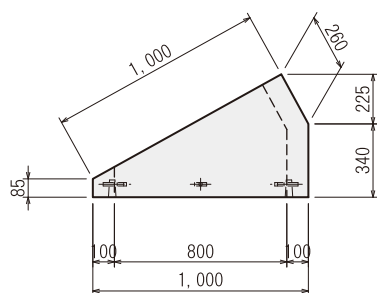
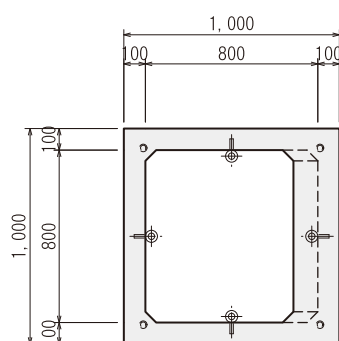


c ユニット

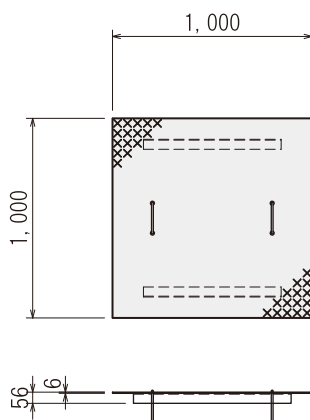


※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の
要否をご検討下さい。

d ユニット



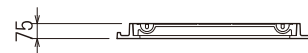
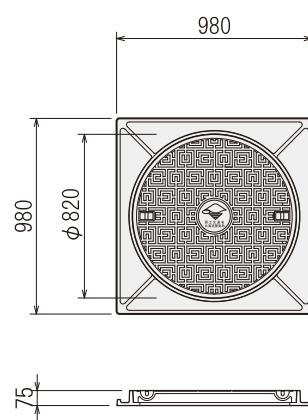
綯鋼板蓋 (C2)



諸数値表

呼び名	質量 (kg)
C2	54

鋳鉄蓋 (SD5・ST5)



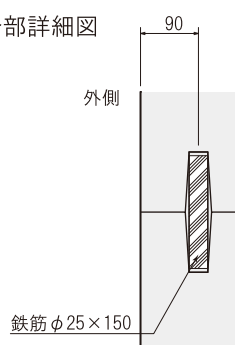
諸数値表

呼び名	質量 (kg)
SD5 (非車道用)	蓋 70 受枠 83
ST5 (車道用)	蓋 104 受枠 83

諸数値表

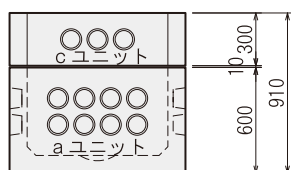
呼び名	質量 (kg)
aユニット	634
bユニット	385
cユニット	252
dユニット	301

接合部詳細図

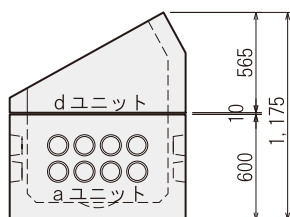


ハンドホール組合せ規格図

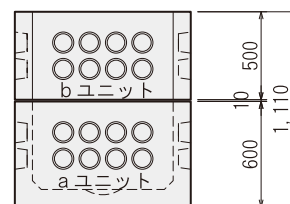
EB型



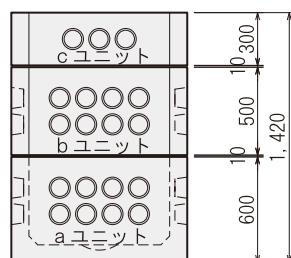
EC型



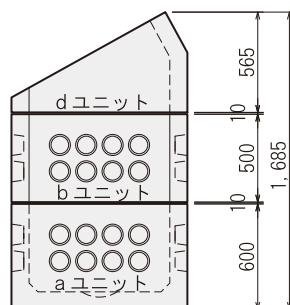
ED型



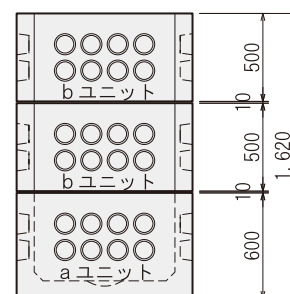
EE型



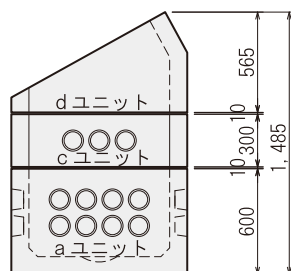
EF型



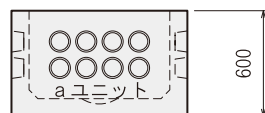
EG型



EH型



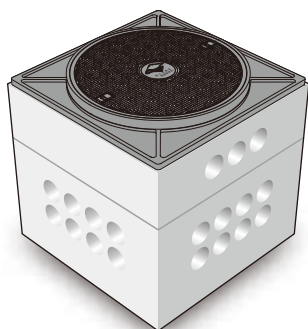
EL型



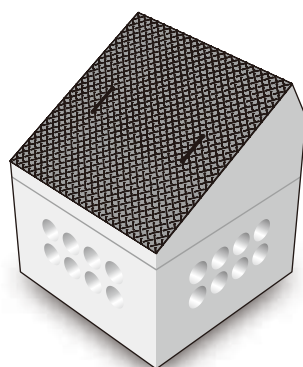
組合せ表

呼び名	使用個数				合計質量 (kg)
	a	b	c	d	
EB型	1	-	1	-	886
EC型	1	-	-	1	935
ED型	1	1	-	-	1,019
EE型	1	1	1	-	1,271
EF型	1	1	-	1	1,320
EG型	1	2	-	-	1,404
EH型	1	-	1	1	1,187
EL型	1	-	-	-	634

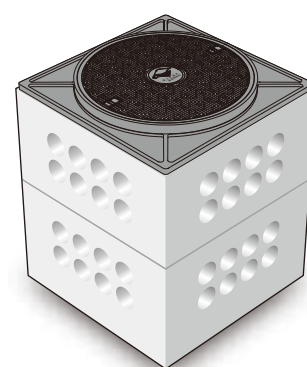
- ・EB型～EL型は、左項の基本ユニット（a～d）の組合せとなります。
- ・EB型～EH型は、路肩・園地等の一般工部に設置します。



EB型



EC型



ED型

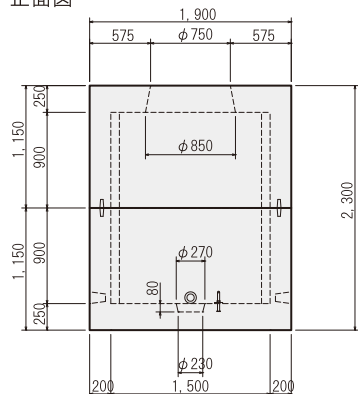
ハンドホール EM1・EM2型

ハンドホール

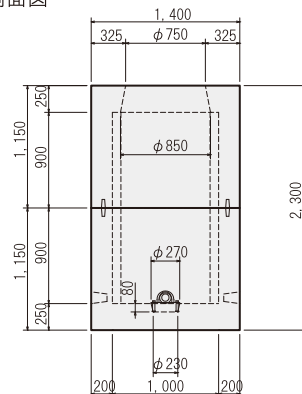
NEXCO 規格

ハンドホール EM1型

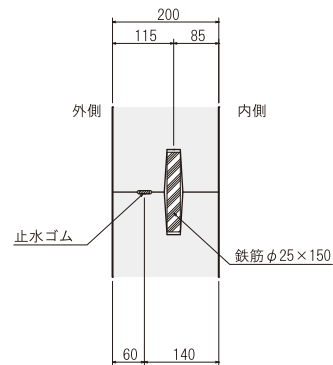
正面図



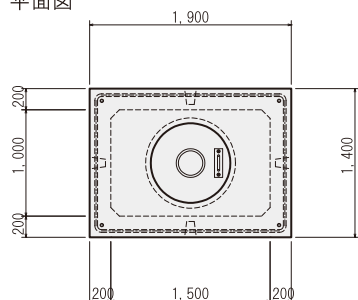
側面図



接合部詳細図



平面図



諸数値表

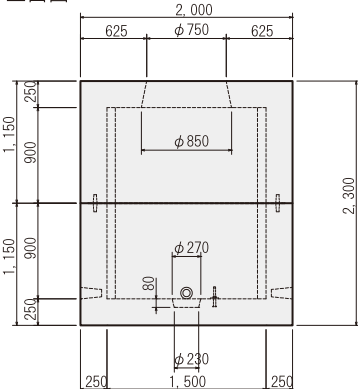
呼び名	質量 (kg)
上部	3,986
下部	4,281

※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の
要否をご検討下さい。

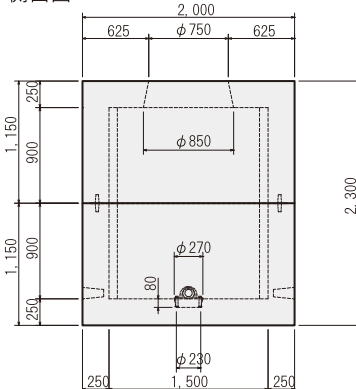


ハンドホール EM2型

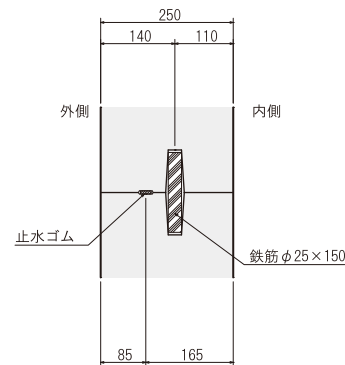
正面図



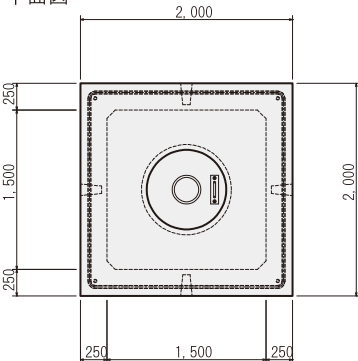
側面図



接合部詳細図



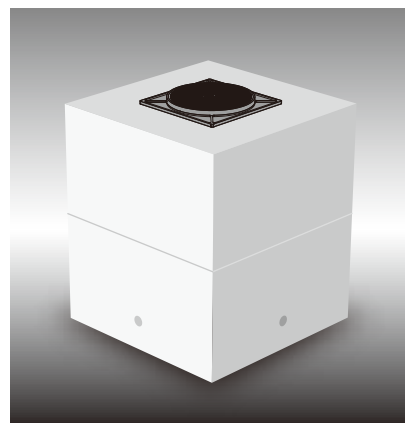
平面図



諸数値表

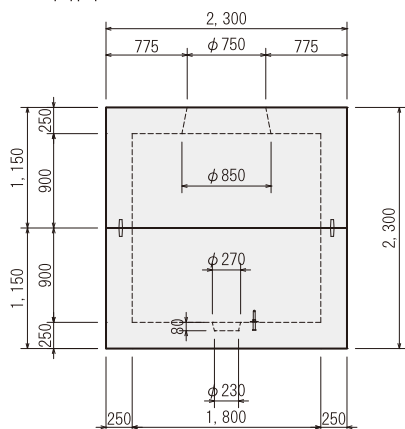
呼び名	質量 (kg)
上部	6,151
下部	6,424

※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の
要否をご検討下さい。

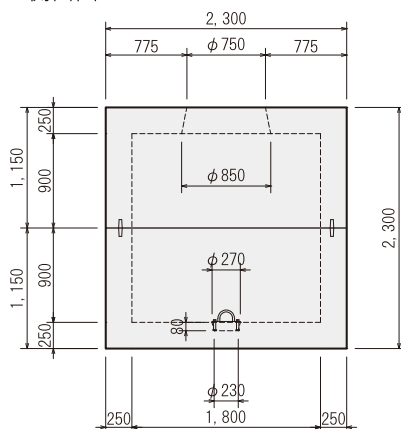


ハンドホール EM3型

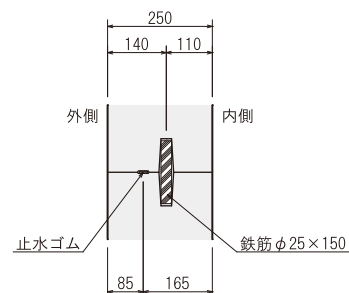
正面図



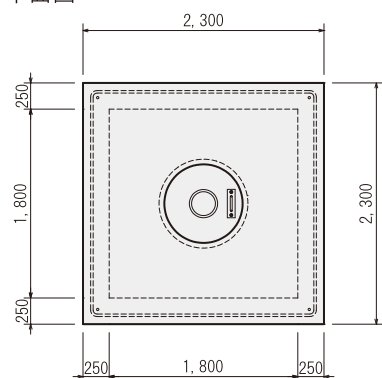
側面図



接合部詳細図



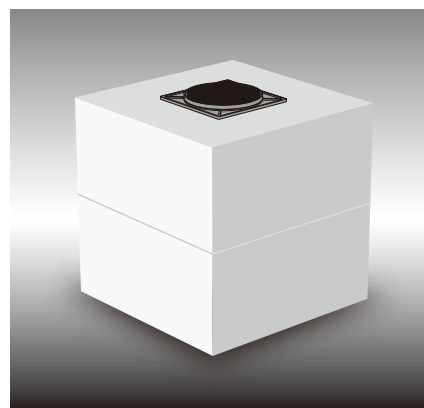
平面図



諸数値表

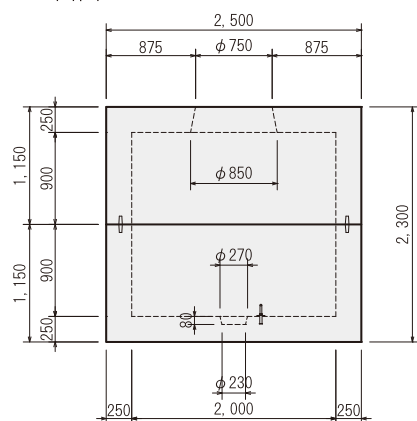
呼び名	質量 (kg)
上部	7,299
下部	7,592

※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の要否をご検討下さい。

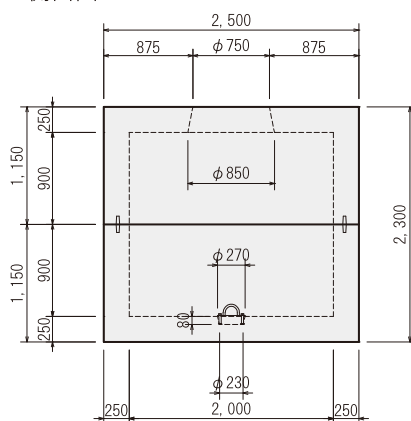


ハンドホール EM4型

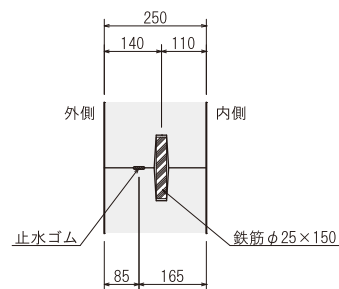
正面図



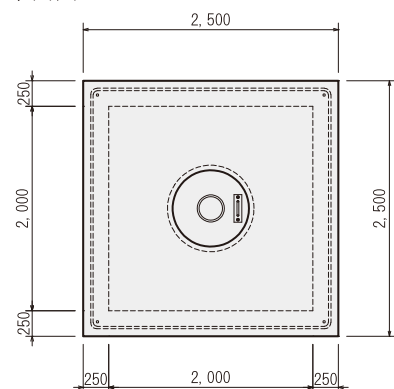
側面図



接合部詳細図



平面図



諸数値表

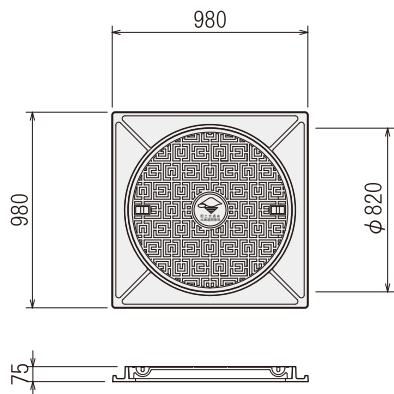
呼び名	質量 (kg)
上部	8,307
下部	8,600

※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の要否をご検討下さい。

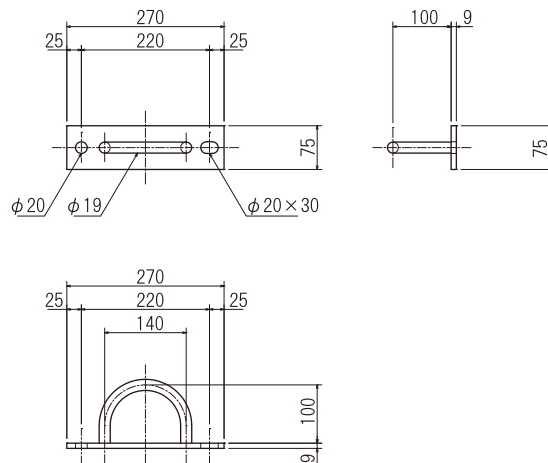


EM1・EM2・EM3・EM4型共通

鋳鉄蓋 (SD5・ST5)

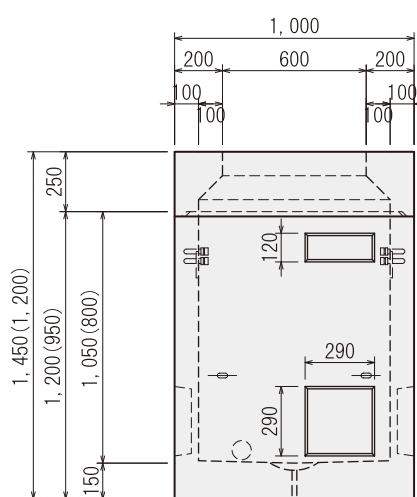
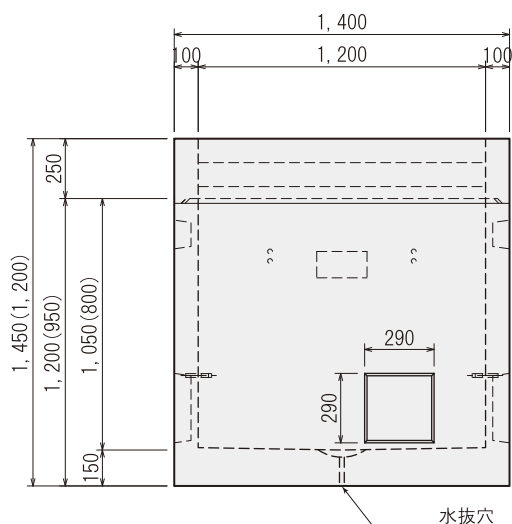


プーリングフック

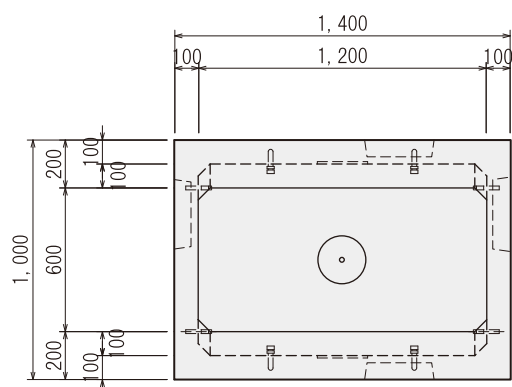


諸数値表

呼び名		質量 (kg)
SD5 (非車道用)	蓋	70
	受枠	83
ST5 (車道用)	蓋	104
	受枠	83



※ () は、CFを示します。



諸数値表

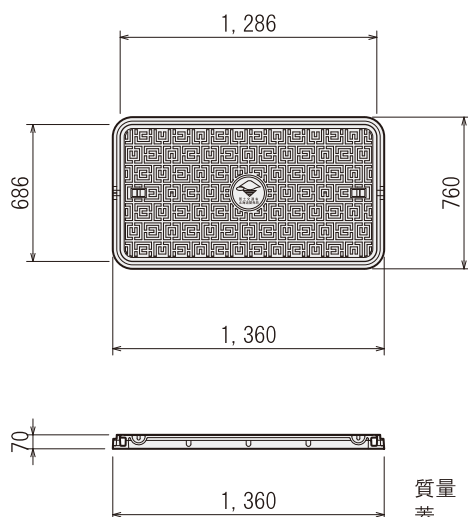
呼び名		質量(kg)	1組あたり質量
CE型	上部	362	1,911 kg
	下部	1,549	
CF型	上部	362	1,644 kg
	下部	1,282	

※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の要否をご検討下さい。



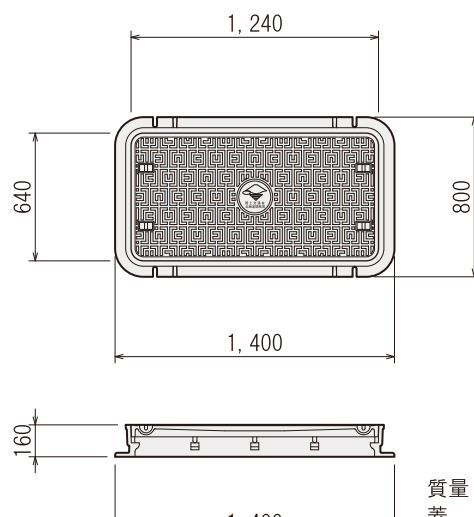
鋳鉄蓋

SD1 (非車道用)



質量
蓋 85 kg
受枠 70 kg

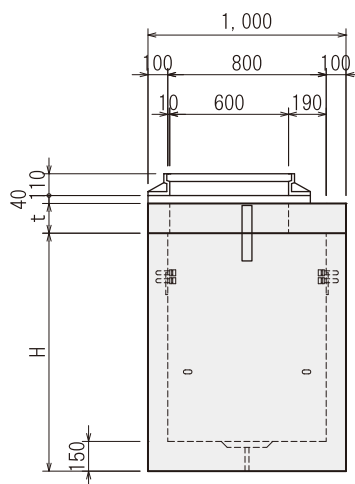
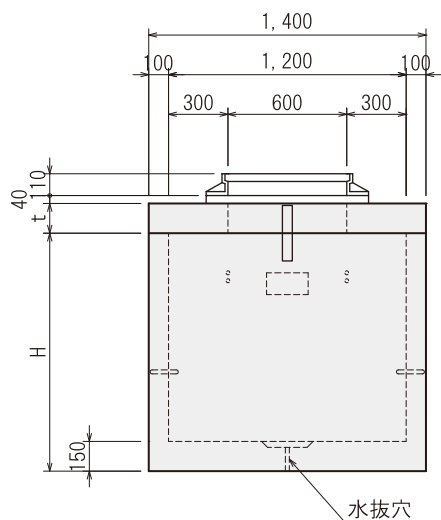
ST1 (車道用)



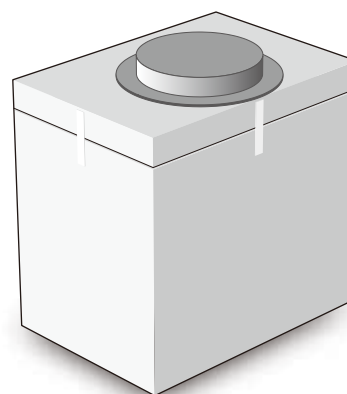
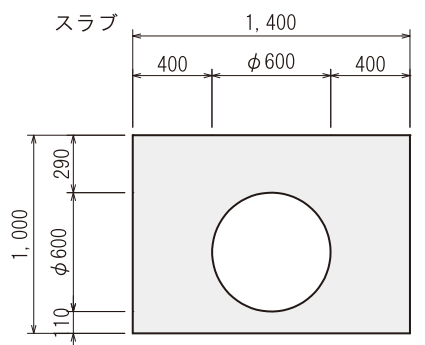
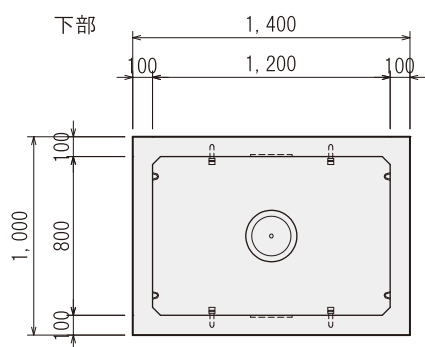
質量
蓋 180 kg
受枠 120 kg

ハンドホール CE・CF型 スラブタイプ

ハンドホール



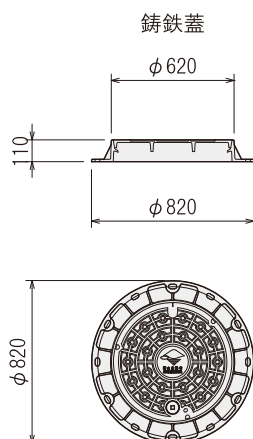
※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の要否をご検討下さい。



諸数値表

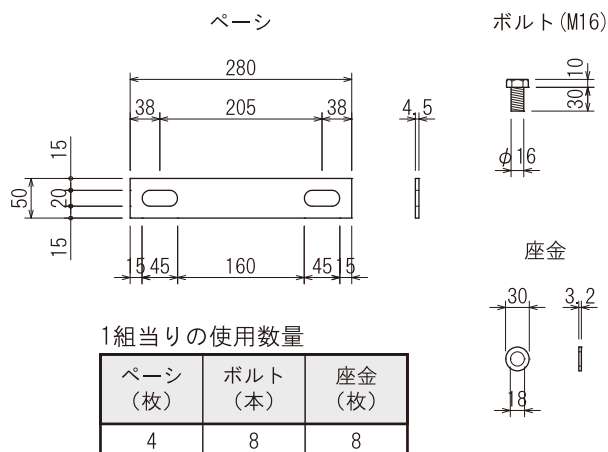
呼び名		スラブ		下部	
		t (mm)	質量(kg)	H (mm)	質量(kg)
CE型	T-14	150	402	1,200	1,621
	T-25	200	536	1,200	1,621
CF型	T-14	150	402	950	1,355
	T-25	200	536	950	1,355

鋳鉄蓋・連結金具



諸数値表

呼び名	質量(kg)
T-14	蓋 33
	受枠 40
T-25	蓋 35
	受枠 40



1組当りの使用数量

ペーシ (枚)	ボルト (本)	座金 (枚)
4	8	8

電線共同溝とは、道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて歩道に収容する施設で、コンパクトで敷設の取り回しがしやすく、低コスト化・工期短縮が図れるとともに、増設や維持・管理が容易という点でも優れています。（C・C・BOXとは「Community（地域・共同）」「Communication（通信・伝達）」「Compact（コンパクト）」お意味が込められています。）

形式と呼び名

形式

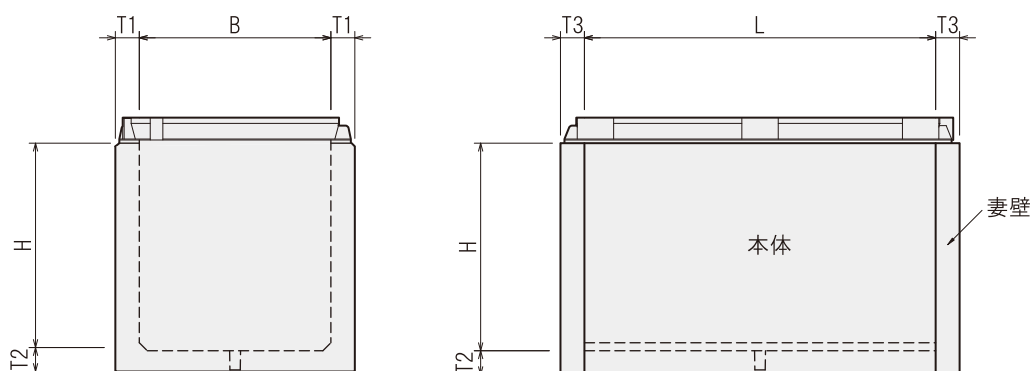
- U型蓋掛け形式 — 本体をU型構造とし、全面開放が可能なもの。
マンホール形式 — 本体を函体構造とし、頂版部に部分開放部を有するもの。

呼び名

- 特殊部 — 接続部、地上機器部を総称して呼びます。
Ⅰ型 — 電力線と通信線を一体に収容するもの。
Ⅱ型 — 電力線と通信線を各々に収容するもの。
接続部 — 電線（通信線）を接続・分岐するために設ける部分。
地上機器部 — 電線に付属する地上機器を設置するために設ける部分。
官民境界柵 — 再掘削防止のため、官民境界に設ける柵。（分岐柵）



U型蓋掛け形式



※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の要否をご検討下さい。

諸数値表

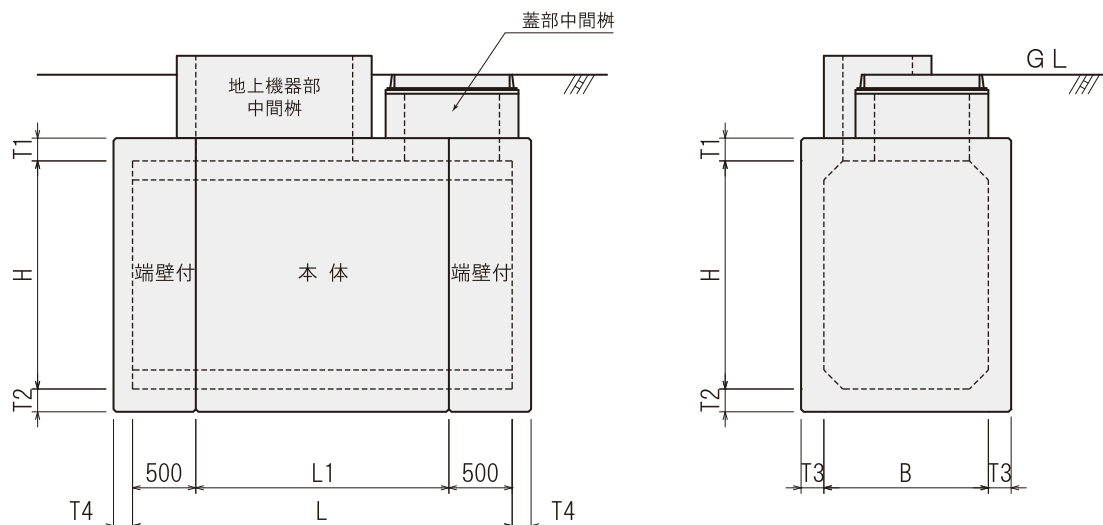
呼び名	内幅 B (mm)	内高 H (mm)	側壁厚 T1 (mm)	底版厚 T2 (mm)	長さ L (mm)	本体質量 (kg)	妻壁厚 T3 (mm)	妻壁質量 (kg)	備考
電力 接続部Ⅱ型	900	1,300	150	150	3,000	4,294	150	653	
					2,500	3,578			
					2,000	2,863			
電力 地上機器部	1,200	1,300	150	150	2,200	3,396	150	816	直上1基用
					2,600	4,014			
					2,700	4,168			
					4,200	6,484			直上2基用
					4,500	6,947			
					4,700	7,256			
通信 接続部Ⅱ型	1,200	1,100	150	150	3,000	4,181	150	703	複数管路方式
					2,200	3,066			
柱体接続柵	700	1,000	150	150	1,500	1,697	150	431	
通信接続柵	500	1,300	150	150	2,000	2,563	80	344	単管路方式

電線共同溝(C-C-BOX)

電線共同溝

日本共同溝工業会加盟

マンホール形式

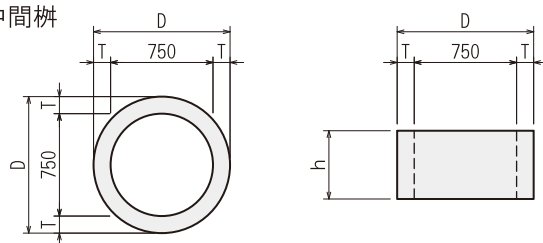


※施工時に地下水の有無を確認し、水抜き用開口の可否をご検討下さい。

諸数値表

呼び名	内幅 (mm)	内高 (mm)	内長 (mm)	頂版厚 T1 (mm)	底版厚 T2 (mm)	側壁厚 T3 (mm)	長さ L1 (mm)	質量 (kg)	端壁厚 T4 (mm)	端壁付 質量(kg)	備考
電力 接続部 Ⅱ型	1,000	1,800	3,000	150	150	150	2,000	4,875	150	2,243	
			2,500				1,500	3,656			
			2,000				1,000	2,438			
電力地上 機器部	1,000	1,800	5,400	150	150	150	4,400	10,725	150	2,243	直上1基用
			3,300				2,300	5,606			
			3,400				2,400	5,850			
			4,900				3,900	9,506			
			5,200				4,200	10,238			
			5,400				4,400	10,725			直上2基用
通信接続部 Ⅱ型	1,200	1,500	3,000	180	180	150	2,000	5,175	150	2,340	複数管路方式
			2,200				1,200	3,105			
接続部 Ⅰ型	1,300	1,800	3,000	180	180	180	2,000	6,453	150	2,958	通信接続＋ 電力接続
			4,900				3,900	12,583			通信接続＋ 電力地上機器
			5,200				4,200	13,551			
			5,400				4,400	14,197			

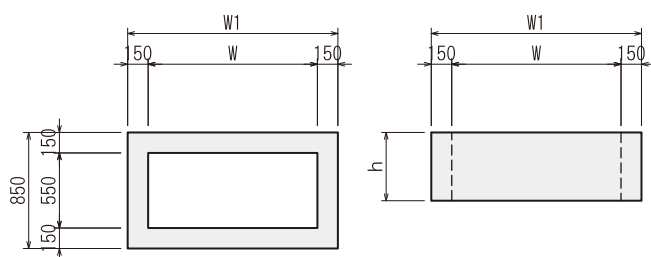
蓋部中間柵



諸数値表 (蓋部中間柵)

寸法 (mm)		質量 (kg)	
T	D	h=500	h=100mm 当
125	1,000	430	86
150	1,050	530	106

地上機器部中間柵



諸数値表 (地上機器部中間柵)

寸法 (mm)		質量 (kg)	
W	W1	h=500	h=100mm 当
1,240	1,540	784	157
1,600	1,900	919	184